**令和2年度　自己評価結果報告書**

**隼人認定こども園**

1. **本園の教育、保育目標**

**・子ども達一人一人がよりよく生きる力の基礎を育てる**

**・子どもが安全で安定した生活ができるよう環境を用意し、自己を十分に発揮しながら健全な心身の発達が図れるようにする**

**・養護と教育が一体となって豊かな人間性を持った子どもを育む**

**保育目標**

|  |  |
| --- | --- |
| **元気：心身ともに健やかな子** | **・広々とした環境の中で戸外遊びを多く取り入れ、心も体ものびのびと過ごす****・身近な環境に親しみ、季節を感じてあそぶ****・食育を通して食の大切さを知り、何でも食べられるようになる** |
| **やる気：よく考え工夫して意　欲的に遊べる子** | **・園生活の中で自分の考えや発想を広げながら、遊びを楽しむ****・いろいろな遊びを通して工夫しようとする****・自分で目標を決め、それに向かって友達と協力してやり遂げようとする** |
| **思いやり：友達と気持ちを共　有して仲よく遊べる子** | **・色々な活動や遊びの中で、協調性を培い社会性の基礎となる態度を身につける****・人の話や行為に対して、豊かな感覚や感情を育む****・言葉や会話で解決する力を育む。また、解決できる喜びを知る****・園生活、あそびを通して善悪を知ったり、ルールを作ったり守ったりする****・共有する全ての遊具や、地域の公共物や公共施設を大切にする心を育み、公徳心を培う** |

**２、本年度、重点的に取り組む目標・計画**

|  |
| --- |
| **・幼保連携型認定こども園においては、生きる力の基礎を育むため、3つの資質・能力「知識・技能の基礎」・「思考力・****判断力・表現力の基礎』・「学びに向かう力・人間性等」及び幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を一体的に育めるよう、様々な経験を計画的に実施していくものとする。** |

1. **評価項目の達成及び取り組み状況**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **評価項目** | **取り組み状況** | **今後の取り組み・課題** |
| **地域に根付く認定こども園としての仕組み機能の理解** | **昨年に続き、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、地域交流の中止が相次ぎ、様々な交流通した経験が削減されたが、公共施設の場の使用方法や外部の方との挨拶の大切さなど、できる限りの体験に努めた。園見学に来園いただいた方におかれては、子どもの成長過程を軸に、室内外の環境作りの特徴の説明に取り組んだ。** | **今後も、新型コロナウイルスの影響で、園外活動の自粛を余儀なくされ、見通しを立てる事が困難と予想されるが、様々な工夫の中で、子どもたちの経験を計画・実施していく必要がある。地域の方に園の取り組み・役割に関心を持っていただけるよう、今後も発信していきたい。** |
| **保育の計画性** | **教育要領に準拠した教育課程の編成を行い、年間計画、月案、個別の保育計画記録の作成を行い、季節や年齢に合わせて、その時にしか体験できない事柄をプロジェクト保育として遊びや活動を取り入れ、自らの成長に繋げて、興味・関心・意欲を高めている。** | **一人一人の成長も視野に入れ、子ども達が興味を持ち、自ら取り組もうとする保育内容になるよう見通しを持ってカリキュラムを作成し、それに従って保育を実施しその都度評価反省を行い、活動内容の充実を図る。** |
| **計画案の検討** | **日ごろの保育や行事に関してゆとりを持った計画を立て、子ども達の育ちがより良いものになるよう取り組む。（3カ月前計画）** | **3ヶ月前計画は意識して取り組むことができたが、発達段階に合った、内容で在ったか、問われるクラスも有り、事前の相談や確認を図り職員間の的確な助言を行う必要があった。** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **子どもの実態の職員共通理解** | **年度末に担任交代を含め園児処遇の申し送りを実施。定期的な全体会議では各クラスの取り組み、課題についてアセスメントし合うことで、各クラスの実態を全職員が把握し個々の状態に応じたかかわりができるようにしている。特に特性のある園児に於いては講師による、講義を受け専門的知識を積み、保護者支援につなげている。** | **色々な場面での子ども達の姿から、その子の本質を理解し､仲立ちや必要な支援にて、子どもにとって安心・安全な環境を維持する。****その為、園児の姿を全職員で理解を図り、情報を共有し園児全体に関心を向ける。** |
| **職員の資質向上** | **園内・外研修等を受講して、職員の資質向上に努める。また、それぞれが学び感じたことについて発表し合うことで各職員の思いに気付き、意見交換することで、より専門性を深め共通理解できるようにする。** | **専門性をより深めるため園内・外研修等を受講して、職員の資質向上に努める。また、職員間で日々の振り返りを行い、子どもの発達や活動を同じ方向性をもって保育・教育が出来るように連携していく。** |
| **保護者のニーズの把握** | **意見箱の設置や、個別面談を実施することで保護者の要望や苦情（相談）が園に届きやすいようにする。出された意見は職員会などで話し合いの場を設け、必要な措置を講ずる。また、報告書に詳細を記載し報告することで、全職員での共通理解を図る。とこれまでの把握方法を軸に必要なアンケート調査を取り入れることでよりニーズの明確化に取り組んだ。結果報告も行い園からの反省点と園へのご理解ご協力も再度依頼し、共通理解を図る時間を設けた。** | **クラスで出された意見・要望・苦情（相談）も園全体の事と捉え園の考え方を示したり、改善すべきものは職員会で意見交換をし、改善点の見直しなどの取り組みを行う。コロナ感染予防と、理科頂いても人数制限での行事参加は寂しいとの声が多かった。園で出来うるライブ配信や動画配信を引き続き行い子どもの集団活動や遊びを通しての様々な成長を感じていただけるよう見える保育教育を実施していく。** |
| **保護者との連携** | **毎月、園だより、クラスだより、ほけんだより、給食献立表を通して園の取り組みを伝える。また、必要事項は連絡帳や口頭で伝えたり、日ごろの保育を写真やポートフォリオで観てもらい、保育参加では一年間の成長をスライドショーにして観てもらったりするようにし、保育内容を伝えている。年長児保護者との個別面談では現在の園での育ちの姿を報告し共通理解を図り小学校移行のスムーズにつなげられるよう就学相談前に時期を調整している。** | **保護者との面談を定期的に実施するとともに行事等や提出物に関しては、なるべく早く詳細をお知らせするようにしていく。コロナ渦の状況説明を丁寧に図り、参加行事の変更など、ある場合は園の判断に協力を得ていく。職員間が1年間の成長をうまく引き継ぐことで保護者の進級時の不安や戸惑いの軽減に努める。** |
| **小学校との連携** | **小学校へのスムーズな移行の為に基本的生活習慣の指導及び、保護者への情報提供、又、幼保小連絡会に参加し、現在の課題を把握する。小学校との交流会を持ち、子どもの期待を高めている。** | **年長児、および年長児の保護者が安心し、期待を持って進学できるような取り組みを行う。また、進学する年長児が生きる力を獲得できるよう、地域の小学校と連携し、課題の解決に努める。** |
| **子どもの健康と安全** | **成長に伴った保健計画に基づき、健康の増進・疾病の予防を図ることを目的とし、子どもたちが自分の身体に興味関心を示せるよう、一年を通し、計画的に活動を取り入れている。安全な日常生活が送れるよう、日々園内外の点検を実施。感染症やアレルギー等の知識を職員が共有し、現状の把握と対策を行っている。又、熱中症対策による室温の管理や園庭遊びの際暑さ指数チェック等数値の把握に努めた。** | **子ども達の緊急対応が必要となった時にも慌てず対応できるように救護に関する研修を増やす。今後も、感染症・アレルギー・けがや様々な事故を想定し、防止法や対応方法の理解を深めていく。又、園児の室内活動におけるマスク着用時の体調管理を見守る必要性がある。夏場の水分補給はこまめに声かけを行い尿回数にも意識する。特に未満児はオムツの使用の枚数もチェックし脱水に注意する。** |
| **安全管理** | **園内外の玩具の点検、遊具の点検を毎日行い、子ども達が安全に生活できる環境を作る。また、毎月避難訓練を行い火災や自然災害に迅速に対応できるよう職員間で連携を取るとともに、消防士によるＡＥＤや避難訓練の実演講習を実施している。園外活動においてはマニュアルに沿ったコースで移動し安全の徹底を図っている。** | **施設遊具の点検、玩具の消毒を今まで以上に徹底し安全に努める。また、園全体でＡＥＤや避難訓練の実演講習を受講し、緊急時に対応できるよう知識・技能を習得する。その日に発生した事例をヒヤリハットに記録し全職員で共有し、改善にむけての検討を行う。** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **子育て支援事業** | **地域に開かれた支援の場を目指して、子育て中の親子が気軽に集い相互の交流や子育ての不安、悩みを相談できる交流の場を提供する。親子遊び、母親リフレッシュ講座、自主活動、こども園との交流、お試しランチ、育児相談などの保護者支援の充実を図っている。アプリを活用し、現在の空き状況や今月の活動内容が確認できるよう配信している。** | **園内でどういった子育て支援事業を行っているかをより解りやすく知らせる方法を考慮して、保護者の方が気軽に利用できるよう地域に開かれた園として取り組んでいきたい。在園児の保護者の妊婦さんも多く様々な講座や活動を実施していることを伝える必要があった。** |
| **園外への情報発信** | **日常の保育活動内容を掲示板にポートフォリオ・プロジェクト保育掲載・お便りを活用し、来園者に取り組み内容を発信している。ホームページを開設し、園の概要及び、教育・保育内容の情報公開をしている。子育て支援においては、他の施設機関に子育て支援取り組み情報のお便りを配置し広く情報発信に務める。問い合わせ等にも順次、対応している。** | **今後も、ホームページや標識（看板）の掲載や、他施設の協力を得ながら情報発信を積極的に行い、子育て支援・保護者支援を行っていく。電話での問い合わせや相談も多く、どの職員も親切丁寧な対応が出来るよう事案の情報共有を図る。** |

1. **認定こども園の具体的な目標や計画の総合的な評価結果**

**キャリアアップ研修で学んだ専門性を活かし、より具体的な計画や取り組み内容を吟味し、バランスを考慮しながら定期的に実施内容を今後もアセスメントしていく。又各リーダーから研修テーマを掲げて職員へ議題（実践）の提供を行ってもらう。**

**職員間の意見交換の場を大切にし、様々な声を聴きながら、経験の違いをカバーし合う。**

**安心安全を第一に心身ともにくつろげる環境での生活の場を目指し、子どもの最善の利益とは何かを常に考慮し、実践・対応に努める。**

**感染予防対策に努め、新たな活動方法を構築したことを、保護者の皆様へご理解いただけるよう、発信に努める。**